

《専門教育科目 専門基礎科目》

科目名	道徳の教育法				
担当者氏名	大倉 健太郎				
授業方法	講義	単位・必選	2・必修	開講年次・開講期	2年・春期
ディプロマポリシーに基づいて重点的に身につける能力	<input type="radio"/> 専門基礎-4 発達の深い理解 <input type="radio"/> 専門基礎-5 指導・保育の専門性				

《授業の概要》

本講では、まず道徳律とは何かについて整理し、その後、道徳性の育成について議論を進める。また「考え、議論する道徳」の教材を扱いながら、具体的な道徳性の育成について検討を行なう。

《テキスト》

「たのしい授業」編集委員会編、『道徳大好きー子どもが喜ぶ道徳プラン集』、仮説社

《参考図書》

文部科学省、『小学校学習指導要領解説 特別の教科 道徳編』、廣済堂あかつき

《授業の到達目標》

(1) 我が国における道徳教育の改革動向について、基礎的知識を有している。

(2) 「特別の教科道徳」の基本理念を理解し、小学校における道徳の授業方法について、具体的に計画し、実践できる基礎的な力を身につける。

《授業時間外学習》

事前に、テキスト等を用いて授業テーマの把握に努めること。学習の振り返りでは、授業のノートや配布された資料等を活用して理解を深めること。

《成績評価の方法》

中間試験（50%）、まとめの試験（50%）によって評価する。第7回目と15回目を目安に、考査（試験）を2回に分けて行なう（予定）。

《備考（教員経験の有無）》

- ・本シラバスは対面授業用とし、遠隔授業用ではない。
- ・グループワーク等を行なう際は、積極的に参加すること。
- ・受講者の理解度に応じて、進度を調整することがある。

《授業計画》

週	テーマ	学習内容
1	道徳の教育法について	本講の概略
2	道徳教育の歴史	「特別の教科 道徳」の系譜
3	道徳律について	デュルケームの道徳律 (morals) を中心に
4	道徳性について (1)	デューイとピアジェによる道徳性と発達段階、そしてミルグラムの道徳性に対する批判
5	道徳性について (2)	コールバーグの道徳性と発達段階、そしてテュリエルの社会的領域論
6	事例研究 I	学習指導案を作成する ー主として自分自身に関するもの (前半) ー
7	事例研究 II	学習指導案を作成する ー主として自分自身に関するもの (後半) ー
8	事例研究 III	学習指導案を作成する ー主として人との関わりに関するもの (前半) ー
9	事例研究 IV	学習指導案を作成する ー主として人との関わりに関するもの (後半) ー
10	事例研究 V	学習指導案を作成する ー主として集団や社会との関わりに関するもの (前半) ー
11	事例研究 VI	学習指導案を作成する ー主として集団や社会との関わりに関するもの (後半) ー
12	事例研究 VII	学習指導案を作成する ー主として生命や自然、崇高なものとの関わりに関するもの (前半) ー
13	事例研究 VIII	学習指導案を作成する ー主として生命や自然、崇高なものとの関わりに関するもの (後半) ー
14	道徳教育と特別活動	特別活動における道徳教育
15	まとめ	今日の課題について